

※ 搬送ベルトに関する情報を無料でお届けします。ご不要の際はご面倒ですが、御社名 F A X 番号をご記入頂き、F A X 0 6 - 6 4 6 5 - 0 7 0 8 へご返信くださいますようお願い申し上げます。

# 搬送ベルト知とく情報

(25年/12月)No.263

発行：吉野ゴム工業(株)

@企画 出口

過去の情報は  
  
こちらから

～ベルトコンベヤ設備をお持ちの皆様にお役に立つ情報をお届けします～

## ◆YOSHINO ワンポイント情報！◆

### 【安全意識の共有】

近年、外国人を雇用する事業所数および外国人労働者の数は、ともに増加しています。厚生労働省「令和6年 労働災害発生状況について」によると、労働者全体に占める外国人労働者の割合は、平成20年の0.9%から令和6年には3.8%に増加しました。それに伴って外国人労働者の死傷者数の割合も、同時期に1.1%から4.6%に増加しています。

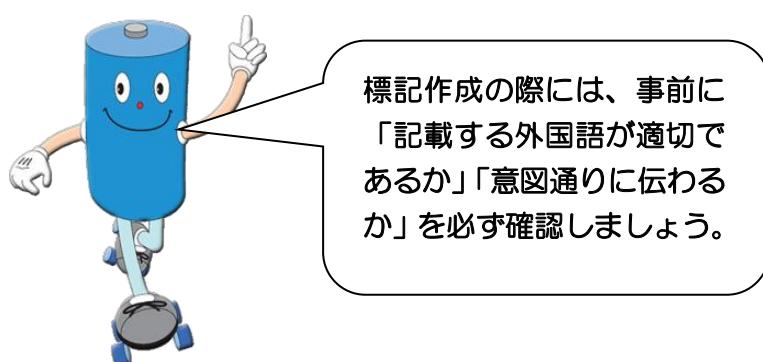
外国人労働者の労働災害発生率は日本人よりも高く、災害の種類としては「はざまれ、巻き込まれ」が全体の23.1%と最も多く、次いで「転倒」「動作の反動、無理な動作」が続きます。

この背景には、言語の違いに加えて文化の違いがあります。日本人には「当然」とされる表現や安全標記が、外国人労働者に正しく理解されない可能性があることを、情報を伝える側が強く意識する必要があります。また、外国人労働者が「理解できていない」ことを伝えることが困難であるという点にも十分な配慮が求められます。

右に厚生労働省のHPに掲載されているイラストを紹介します。これらのイラストと注意喚起文などを組み合わせて、各現場に適した標記づくりの参考にしてください。



外国人労働者の労働災害防止のための表示（食料品製造業等向け）※厚生労働省HPより抜粋



標記作成の際には、事前に  
「記載する外国語が適切で  
あるか」「意図通りに伝わる  
か」を必ず確認しましょう。

今年も1年間「知とく情報」  
をご覧いただき、ありがとうございました。

2025年もあと少し  
ご安全に！！

